

事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員におけるの広さは適切である
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用人数における職員の配置人数は適切である
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動する場所、余暇を過ごす場所等わかりやすく構造化しており、手すりのついたトイレや自動で水が出る洗面台も設置し配慮している。スケジュールを一覧にして見えるよう表示している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々清掃と消毒を行い、清潔を心掛けている。活動によって机を移動するなど空間を有効にしようしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員会議で業務改善について意見を出し合い日々の業務を振り返り、共有することに努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		法人ホームページにて公開している。保護者にも紙面で配布している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		法人ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在第三者による外部評価の実施はないが外部評価の活用を検討している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月研修を行い資質向上に努めている。外部研修にも積極的に参加する機会を設けている。
適切な支援の担	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		モニタリングやアセスメントを通して子どもや保護者の意向、課題の分析をした上で個別支援会議を行い、職員の意見を取り入れながら作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化された基本情報シートを使用している。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援内容は出来るだけ具体的であるよう立案している。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援を行い記録している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		立案後職員間で話し合いを行い意見を取り入れながら再度計画をし立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		新しい活動や季節の行事を取り入れ、活動内容が固定化しないよう努めている。
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日以外は午前・午後ともに集団活動を取り入れるなど集団の中での課題を設定し支援している。外出等は祝日・長期休暇に取り入れている。

児 供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	子どもの課題に合わせて個別活動と集団活動を行いながら、職員間で話し合い計画を作成している。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	午前と場合によっては午後にも申し送りをし、支援内容と各職員の業務・役割分担を確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	終礼時に申し送りをし、子どもの様子や支援について共有し、振り返りを行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	支援に対し正しく記録し支援の検証・改善に繋げている。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	3ヵ月から6ヵ月ごとにモニタリングを行い、個別支援会議で内容を検討、見直しをしている。
	22	(放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○	地域交流が図れていないことが課題であるが、社会生活能力、集団活動への参加等組み合わせる支援している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	管理者、児童発達支援管理者が会議に参加している。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		
	25	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	各学校と送迎時や電話連絡等で調整を行っている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	現在、医療的ケアが必要な児童の利用がないが、今後利用がある場合は連絡体制を取るようにしていく。
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	重症心身障害ではないが、児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているため、そういう児童が利用となった場合も連絡体制を整えている。
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		
	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	田辺市立保育所の保育士と連絡調整し情報共有している。
	31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	現在対象児童がない為情報の共有は行っていないが、今後情報提供できるよう記録等、保管している。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	小児科医師や児童発達支援センター等の専門機関に問い合わせし助言を受けている。

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	以前は利用していたが、今年度も新型コロナウイルス感染症で機会はない。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	田辺・西牟婁の会議や自立支援協議会子ども部会にさんかしている。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳や送迎時に児童の様子を伝えたり、面談を行うことで共通理解をしている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	保護者の方からの相談や質問には思いを受け止め出来る限りの支援を行っている。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に書面に添って丁寧に説明している。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○	支援計画の見直しの際には保護者に丁寧な説明を行い同意を得ている。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	定期的に事業所通信を発行し、保護者に配布している。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	新型コロナウイルス感染症で行えていなかったが今年度は状況を見ながら開催する予定にしている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談時には状況をしっかり聞かせてもらい日々の子どもの様子を伝えながら、必要な助言と支援に努めている。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	定期的に事業所通信を発行し、保護者に配布している。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	書類を書庫に収納し施錠し、データの持ち出しを禁止し個人情報の扱いについて徹底している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚支援を行い、丁寧にわかりやすい説明を心掛けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	近隣住民に事業所や子ども達の事を知ってもらうことが出来ているが、コロナ禍で行事は実施出来ておらず、感染状況を見ながら今後検討してい
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	各対応マニュアルは事業所内に掲示し保護者、職員に周知している。契約時にも説明を行い、感染症については時期毎にお知らせを配布している。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月訓練(避難、防災、防犯、総合訓練)を行っている。総合訓練は田辺市消防に立ち会ってもらっている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	契約時に保護者に聞き取りや相談支援専門員と情報共有を行い確認している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	現在、強いアレルギーを持つ児童はいないが一覧表を作成し職員間で共有している。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	今日の出来事としてヒヤリハットを作成しており職員間で話し合い今後の対応に繋げている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	定期的に虐待防止研修を行い、年2回セルフチェックを行っている。

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	現在対象児童はいないが身体拘束を行う場合は、組織的に決定する重要性を理解し、児童や保護者に事前に十分な説明を行い同意を得た上で個別支援計画に記載する。
--	---	---	---

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和4年11月 3日